

平成28年度

川越市の教育



川越市教育委員会



川越市民憲章

先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産をもつ川越。わたくしたちは、このまちに生きること誇りをもって、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうるおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。



*** ** 目 次 *** **

はじめに	1
I 教育行財政	2
教育長及び教育委員紹介	2
教育委員会議案等（平成 27 年度）	3
事務局組織の主な事務と教育機関	6
第二次川越市教育振興基本計画	8
教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価	11
平成 28 年度教育行政の基本方針と重点施策	11
教育財政	13
平成 28 年度並びに平成 27 年度教育費当初予算（歳出）	14
児童生徒 1 人当たり教育費及び需用費	15
平成 28 年度主な事業	15
1. 教育総務課	16
2. 教育財務課	18
II 学校教育	20
1. 学校管理課	20
2. 教育指導課	22
3. 学校給食課	29
4. 教育センター	33
5. 教育センター分室（リバーラ）	39
6. 市立川越高等学校	43
III 社会教育	45
1. 地域教育支援課	45
2. 公民館	54
3. 図書館	57
4. 博物館	61
5. 学童保育（教育財務課）	65
IV 文化財保護	66
1. 文化財保護課	66
V 資料	74

表紙写真について

大沢家住宅（国指定重要文化財・建造物）

大沢家住宅は、呉服太物を商っていた西村半右衛門（近江屋）が建てたもので、明治 26 年の川越大火の時も焼け残り、川越商人に蔵造りを建てさせるきっかけになった建物の一つである。間口 6 間、奥行 4 間と大きな店である。

外観の特色は、影盛が明治の大火以後の厚く重々しい物に比べ非常に薄く板状になっていること、比較的小振りな棟などがある。

当家は、土蔵造りが定型化する以前の様式を伝えるもので、関東地方の町家でも古い方に数えられる貴重な建物である。

近年、経年劣化や東日本大震災、更には大雪被害により朽損した屋根の部分修理を平成 26～27 年度に実施した。

はじめに

わが国における社会状況は、人口減少、少子高齢化の進行や高度情報化・グローバル化の進展などにより、急激に変化しております。教育分野においては、いじめや不登校の問題、家庭や地域の教育力の低下などさまざまな課題が生じています。

川越市と川越市教育委員会では、平成23年2月に、川越市教育振興基本計画を策定し、「生きる力と学びを育む川越市の教育」を基本理念に掲げ、その実現に向けて施策の推進に取り組んでまいりました。策定から5年が経過し、この間、教育を取り巻く社会状況は大きく変わりました。本市では、これまでの成果と課題を踏まえ、更なる教育の充実を目指し、平成28年度から平成32年度を計画期間とする第二次川越市教育振興基本計画を策定しました。この計画では、前計画の基本理念を継承し、「次代を担いたくましく生きる児童生徒の育成」「ふれあいと思いやりのある地域社会の実現」「心豊かで生きがいを持てる市民社会の実現」の3つの教育目標を定め、この目標に基づいて次の5つの方向性を示しました。

- 1 生きる力を育む学校教育の推進
- 2 活力ある地域を創る生涯学習の推進
- 3 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
- 4 多文化共生と国際交流・協力の推進
- 5 生涯スポーツの推進

この5つの方向性を本市の教育行政の基本方針とし、毎年度、重点施策を定めるとともに、第二次川越市教育振興基本計画の進行管理と併せ、事務事業の点検及び評価を行いながら、本市の教育行政を総合的かつ計画的に推進してまいります。

変化の激しい社会の中で次代を担う子どもたちが、心豊かに成長するために、学校・家庭・地域が連携・協力し、子どもたちの「生きる力」を育み、一人ひとりが思いやりや生きがいを持てる社会の実現に向けた、さまざまな支援を行っていきたいと考えております。

本冊子は、平成28年度における本市の教育行政及び各教育機関の概要をとりまとめたものです。

市民の皆様及び関係各位におかれましては、本冊子をご活用の上、本市教育行政への理解をより一層深めていただき、「生きる力と学びを育む川越市の教育」の実現に向けてご協力いただければ幸いです。

川越市教育委員会